

第39回 滋賀県社会福祉学会 開催案内

(自由研究発表・シンポジウム/第2回ひたすらなるつながりフォーラム)

●開催日 **令和3年(2021年)2月22日(月)**
9:30~16:30(9:00受付)

●会 場 **滋賀県立長寿社会福祉センター**
(草津市笠山七丁目8番138号)

●定 員 **会場参加 200名/オンライン参加 100名**

※オンライン導入や「3密」の回避など感染防止対策を講じたうえで開催します。

なお、オンライン参加の方には、会場から配信される映像を各施設や自宅等でご視聴いただきます。

コロナ禍における 地域のいまとこれから

主催 **滋賀県社会福祉学会**

(事務局 / 滋賀の縁創造実践センター 社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会)

第39回滋賀県社会福祉学会 開催のご案内

学会テーマ

『コロナ禍における地域のいまとこれから』

趣 旨

新型コロナウイルスの影響によって私たちの社会や地域は大きく変化し、見えづらかった「生活の格差」、「つながりの格差」、「不寛容さ」など福祉の課題が浮き彫りになりました。そうしたコロナ禍の状況の中でも、地域共生社会の実現に向けて、「縁共生の場づくり（※）」や、法や制度の狭間における生活課題への支援等、それぞれの現場で、試行錯誤しながらの実践が、滋賀の様々な地域で展開されています。

滋賀県社会福祉学会は、“しがの福祉人”が、日頃の実践を通して得た発見や示唆を、発表し・学び・励まし合う場として、分野をこえて相互研鑽と共有を図ることを目的として開催しており、今年度は、『コロナ禍における地域のいまとこれから』をテーマに、福祉課題を明らかにし、ウィズコロナの地域社会を展望します。

なお、オンライン配信もいたしますので、多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

*（※）「縁共生の場づくり」とは…一人ひとりが人として大切にされ、だれもが「ひたすらなるつながり」を実感できる場づくりのこと。
* オンラインの導入や「3密」の回避など感染防止対策を講じたうえで開催します。

1 参加対象

* 社会福祉従事者 * 医療・保健関係者 * 教育関係者 * SDGs・社会貢献に関心のある企業・団体関係者
* ボランティア * 地域福祉活動実践者 * 学生 * 福祉に関心のある人

2 参加費（資料冊子代）

一般参加・発表参加者	1,000 円
大学・短大・専門学校等学生・高校生以下	無 料

※会場参加者については、当日受付にてお支払いください。

※オンライン参加者については、お申込みを頂いたのち、別途、お振込先等をご案内いたします。

なお、振込手数料は参加者負担となりますのでご了承ください。

※オンライン参加者について、当日、やむを得ず不参加となった場合についても、返金等はいたしません。

3 参加方法

- 本年度は、新型コロナウイルス感染症等の対策のため、事前申込みを必須といたします。参加ご希望の際は、「一般参加申込書」に必要事項をご記入のうえ、申込書をFAXまたはメール等で送付いただくか、下記申込フォーム（QRコード）よりお申込みください。
- 会場参加の場合、健康観察票（下記ホームページよりダウンロード）に必要事項をご記入のうえ、当日、受付にてご提出をお願いいたします。

※開催案内・申込書・健康観察票は、滋賀県社会福祉協議会のホームページからもダウンロードできます。
(<http://www.shigashakyo.jp/>)



4 参加申込締切 令和3年2月10日(水)

- 本年度は、新型コロナウイルス感染症等の対策のため、締切期日前に定員に達した場合は、募集を終了いたします。（事前申込必須）

5 日 程

9:00~9:30	9:30~9:45	9:45~9:50	9:50~12:20	12:20~13:20	13:20~15:50	15:50~16:30
受 付	開会式	オリエンテーション (各分科会)	自由研究発表 (口頭発表のみ)	昼食休憩	シンポジウム	閉会式 (奨励賞発表・縁認証式)

6 手話通訳等

- ・シンポジウムには、手話通訳者、要約筆記者を依頼します。
- ・自由研究発表の時間帯に、手話通訳、要約筆記者等をご希望の場合は、申込み時にその旨をご記入ください。

7 昼 食

昼食は各自でご用意ください。

8 滋賀県社会福祉学会における感染対策について

- ①消毒、換気の徹底（各会場前に消毒液の設置・会場の定期的な消毒・換気）
- ②参加者同士の距離の確保（仕切りや間隔を空けた配置・混雑防止のための入場制限）
- ③来場者の検温・消毒・手洗い・マスク着用の協力の徹底
→体調が優れない方には、参加をご遠慮いただく場合がございます。
- ④運営スタッフの体調管理の徹底（検温・事前の健康チェック・健康観察票の記入）

※今後の新型コロナウイルス感染症の流行状況により、急遽中止となる場合もございますので、ご了承ください。その際は、事前に滋賀県社会福祉協議会ホームページにてお知らせいたします。

自由研究発表（9:50～12:20）

自由研究発表は、社会福祉関係者が日頃から行っている活動や他に先駆けて実施している取り組みを発表し、関係者みんなで討議しあう貴重な場です。

この場で発表・討議されたことがお互いの活動意欲と実践を高め、滋賀の社会福祉向上につながれると思います。

なお、本年度は、会場発表とともに、第1分科会（高齢者福祉）は、ZOOMを活用したオンライン配信をいたします。（第1分科会以外の分科会については、オンラインではご視聴頂けませんのでご注意ください。）

1) 発表時間

口頭発表 1 題につき、発表 15 分 質疑応答 7 分（計 22 分）

※各発表の間には、転換・換気の時間として 8 分のインターバルを設けさせていただきます。

2) 自由研究発表（分科会）分野及び発表題数

分科会	分 野	発表数
分科会 1	高齢者福祉（オンライン配信）	5 題
分科会 2	高齢者福祉・子ども	5 題
分科会 3	障害者福祉・子ども若者	5 題
分科会 4	地域福祉①	4 題
分科会 5	地域福祉②	3 題
合 計		22 題

3) 滋賀県社会福祉学会 奨励賞

大会における自由研究発表（口頭発表）のなかから「滋賀県社会福祉学会奨励賞」を選び、研究を奨励します。また、奨励賞に選ばれた発表は、研究誌『滋賀社会福祉研究第 24 号』（令和 4 年 2 月発行予定）に研究レポートを掲載し、広く公表します。

4) 個人情報の保護

発表のなかには、実際の事例等を取り上げたものが多くあります。事例は発表者が自らの研究成果を披露し、討議することで、参加者と共に研鑽を図ろうという意味で提供されるものです。発表者および参加者は、法令等に基づき、個人情報を保護してください。

《一般参加の皆さんへ》

- 学会参加者は、この「プログラム」や当日配布する「学会要旨集」をご覧のうえ、各自が聞きたいと思う発表に自由に参加することができます。
- 分科会間の移動は自由です。ただし、発表中の移動はご遠慮ください。
- 新型コロナウイルス感染防止のため、各会場について、入場制限を設けておりますので、会場が定員になりましたら、他分科会へのご参加のご協力をお願いいたします。

自由研究発表の演題一覧は、5～6ページに掲載しています。

学会シンポジウム / 第2回ひたすらなるつながりフォーラム（13:20～15:50）

テーマ『コロナ禍における地域のいまとこれから』

コロナ禍における地域では、どのような問題が起こっているのか、いつまで続くのか不明なウィズコロナの中、どのように地域共生社会を目指していくのか、縁の実践の取り組みを発信・共有・展望する機会となるよう、今年度の学会シンポジウムは、「ひたすらなるつながりフォーラム」として開催いたします

特別基調講演（13:25～13:55）

『新型コロナウイルス感染症対策の功罪』

角野 文彦 さん

滋賀県健康医療福祉部 理事

1986年（昭和61年）3月 滋賀医科大学医学部卒業
1992年（平成4年）3月 国立公衆衛生院専門課程修了
1999年（平成11年）4月～彦根健康福祉センター副所長（彦根保健所長）以後、
県内の保健所長を歴任
2008年（平成20年）4月～滋賀県健康福祉部健康推進課長
2012年（平成24年）4月～滋賀県健康医療福祉部 次長
2018年（平成30年）4月～滋賀県健康医療福祉部 理事
滋賀医科大学特命教授



シンポジウム（13:55～15:50）

コーディネーター

金子 秀明 さん

社会福祉法人 さわらび福祉会 理事長、滋賀県社会福祉協議会 理事

1984年 さわらび共同作業所入職。現在は甲賀市・湖南市で4カ所の通所事業所や、相談支援事業、グループホームの運営を行う。精神障害者の地域生活支援、ひきこもりの方々への支援等、相談支援を中心に活動。
2013年～甲賀・湖南成年後見センターぱんじー副理事長
龍谷大学・びわこ学院大学非常勤講師



シンポジスト

生田 雄 さん

社会福祉法人 近江和順会 特別養護老人ホーム レーベンはとがひら 施設長

平成 23 年 4 月 福井大学医学部附属病院リハビリテーション部
平成 24 年 4 月 大阪医科大学附属病院リハビリテーション科
平成 26 年 4 月 医療法人社団美松会生田病院リハビリテーション科
平成 27 年 5 月 社会福祉法人近江和順会特別養護老人ホーム
レーベンはとがひら入職
平成 29 年 10 月 社会福祉法人近江和順会特別養護老人ホーム
レーベンはとがひら施設長



小島 滋之 さん

社会福祉法人 八身福祉会 八身共同印刷・八身ワークショップ・葉菜屋 施設長

旧八日市市生まれ、東近江市在住。平成 8 年、福祉関係の勉強もなく面接時に共感して社会福祉法人 八身福祉会に入職。主任、副施設長等を歴任し、平成 23 年より施設長を拝命して現在に至る。

滋賀県障害福祉計画策定委員、滋賀県サービス管理責任者研修および滋賀県障害者虐待防止・権利擁護研修講師、東近江市障害福祉計画策定委員、東近江市地域福祉計画策定委員

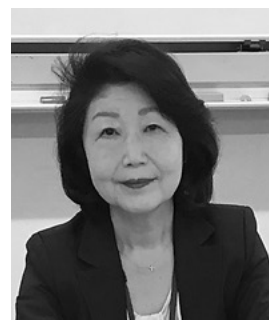


森本 清美 さん

社会医療法人 誠光会 介護事業局 副局長 / 指定居宅介護支援事業所きらら 部長

兵庫県出身。病院勤務、京都市保健所、訪問指導員を経験し、在宅の現状や課題を知り、相談援助やマネジメントを学びたいと考える。平成 7 年、草津市野村在宅介護支援センター所長就任。平成 12 年、介護保険スタートにより、居宅介護支援事業所きらら所長兼務、ケアマネジャーとして実践中。

滋賀県介護支援専門員連絡協議会監事、介護支援専門員実務・更新研修講師



小西 由美子 さん

子ども食堂ひがしっこ 代表

平成 16 年 12 月～民生委員・児童委員
平成 20 年 4 月～守山市立吉身小学校評議員
平成 23 年 4 月～吉身東町自治会長
平成 24 年 4 月～もりやま作業所 社会福祉法人 白蓮評議員
平成 28 年 12 月～吉身東町自治会子ども食堂ひがしっこ代表
平成 29 年 4 月～日本善行会理事



閉会式 (15:50～16:30)

学会奨励賞発表・縁認証式

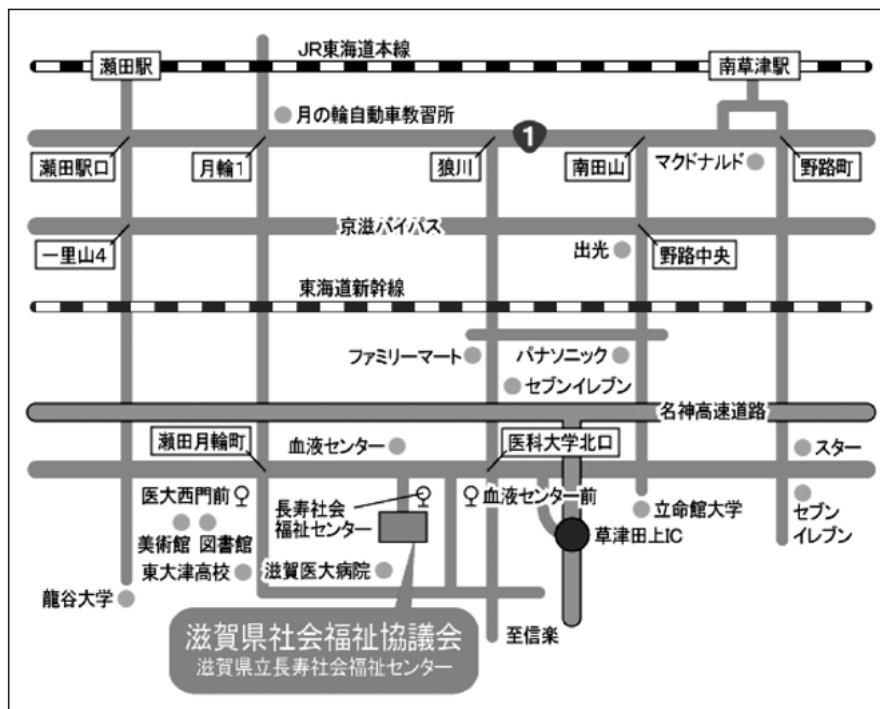
第 39 回滋賀県社会福祉学会 自由研究発表プログラム一覧

	第 1 分科会 高齢者福祉 (オンライン配信)	第 2 分科会 高齢者福祉・子ども	第 3 分科会 障害者福祉・子ども若者	第 4 分科会 地域福祉①	第 5 分科会 地域福祉②
第 1 発表 9 : 50	「高齢者へのインスリン自己注射の指導」-在宅復帰に向けた取り組み- ○石田 智恵	地域基盤型／指向性保育士養成カリキュラムの検討と実践に関する研究 滋賀短期大学 幼児教育保育学科 ○深尾 秀一	自閉症スペクトラムのある児童へのチームアプローチ 社会福祉法人とよさと 彦愛犬地域障害者生活支援センター ステップアップ 21 ○尾田 孔恵	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、特例貸付を利用した世帯への支援について 大津市社会福祉協議会 ○奥野 佑樹	地域で共に暮らす人々がつながり合う地域社会の構築～かやぶき心における居場所づくりを通して～ 特定非営利活動法人 宅老所心 ○中瀬 隆泰
第 2 発表 10 : 20	介護老人保健施設 草津ケアセンター ○葛城 貞三 介護保険制度を持続可能な制度にするためにー訪問介護事業所の事例とケアマネジャー 118 人のアンケートからー	なにかあっても大丈夫～チームで取り組む独居支援のリスクマネジメント～ ふくら居宅介護支援事業所 ○大音 庄二	障害のある人が「生きがい」を感じるために必要な社会的条件について考える 合同会社ふくろう ○沢田 知也	新しい福祉のチカラ～地域循環型未来食堂みんなの食堂の取り組みから見えてきたこと～ 特定非営利活動法人 芹川の河童 ○川崎敦子	「高齢者の社会への積極的つながり」を創る「夢の学習」の実践」～既存のサロン活動支援から新たなサロンの活動開催で学んだこと～ 特定非営利活動法人 地域で創る土曜日夢の学習 ○池本 京子 ○名倉 勇
第 3 発表 10 : 50	「人が集い人が支え合う心暖まる居場所づくり」のために在宅サービスが出来ること～新設で地域に浸透していない現実を出発点としての試行錯誤～ 社会福祉法人心暖まる会 サニープレイス彦根 ○清水 徳子 ○長谷川 孝子	地域と支え合う事業所の活動 米原市社会福祉協議会 東部デイサービスセンターはびろ ○北川 麻美 ○加藤 麻美	施設を巣立った子ども達の追跡調査まとめ～「ゆるやかな自立」を支えるものから～ 滋賀県児童福祉入所施設協議会 調査研究部会 ○下岡 路子	フードバンク事業 e こころステーションの挑戦～ ボランティアによる参加のプラットフォームづくり ～ 甲賀市社会福祉協議会 ○大谷 喜久 ○岩本 友愛	「夢の学習」5年目の隙間を埋める福祉・教育の総合的実践～コロナ禍での「夢の学習」実践活動～ 特定非営利活動法人 地域で創る土曜日夢の学習 ○榎本 圭治

第4発表 11:20	眠りSCAN導入により見えたこと～ 睡眠と排泄の関係～ 社会福祉法人 青祥会 介護老人保健施設 長浜メディアケアセンター ○西崎 清隆	書きたくなるエンディングノート『私の整理帳』を作ろう 大津市民生委員児童委員協議会 連合会 高齢者部会 ○福田 正彦	「好きなものをきかけとしたいひきこもりからの卒業」 京都芸術大学 ○松崎 雛乃	地域住民や福祉活動者でつくるテレビ番組の可能性について～こ うぶくコロナプスの挑戦～ 甲賀市社会福祉協議会 ○重盛 直大 ○山中 知恵	
第5発表 11:50	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)の集団発生を経験し て 近江和順会 特別養護老人ホームレーベンとはとがひら ○橋元 和久	「介護保険財政と介護方針の考察」 -介護予防に重点を置いた場合の 財源配分と意義について-	滋賀大学教職大学院 ○川島 民子		

※研究者氏名について、当日の発表者のみ掲載しております。

【会場案内】



- JR 瀬田駅から
帝産バス「長寿社会福祉センター行」または「滋賀医大行」
(所要時間約 15 分)
- JR 南草津駅から
近江バス「長寿社会福祉センター行」、または帝産バス「草津養護学校行」
(所要時間約 20 分)
- 新名神高速道路草津田上 IC から、所要時間約 5 分

滋賀県社会福祉学会事務局

滋賀の縁創造実践センター

滋賀県社会福祉協議会 地域福祉部門

〒525-0072 草津市笠山七丁目8番138号 県立長寿社会福祉センター内

電話：077-567-3924 FAX：077-567-5160

e-mail：shiga-gakkai@shigashakyo.jp